

事業概略書

事業名	いわゆる「眼球使用困難症」により日常生活に困難を来している方々の支援策等に関する調査研究
事業目的	<p>昨年度の「羞明等の症状により日常生活に困難を来している方々に対する調査研究」において、いわゆる、眼球使用困難症を有する方の社会的な困難さ困窮点の整理・分析を実施したところである。その中で、当該症状を有する方から求められている対応策として、病態の解明、客観的評価基準の開発 社会的認知の拡大 社会的支援・保障の充実 羞明等の症状にかかる情報の整理が挙げている。</p> <p>本調査では、～ の対応策を進めることを目的として、. に示す調査を実施した。</p>
事業概要	<p>1. 周知策の検討、周知活動の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周知リーフレットの作成 ・シンポジウムの開催 <p>2. 重症度に係る検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度アンケートの整理 ・有識者との検討・重症度キーワードの探索 <p>3. 支援策を検討するための調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当事者に対するアンケート調査による重症度の評価指標の検討 <p>4. WG の設置・開催による調査内容の精査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1. ～ 3. の検討内容について WG を通じた精査
事業実施結果及び効果	<p>作成したリーフレットは、羞明等の症状を知らない一般の方や医師に向けたものとし、わかりやすく、簡潔な内容とした。シンポジウムは、R2 年度調査で得られた知見を用いて、羞明等の症状を知らない人（一般の方、医師）の理解促進を目的として開催した。（オンライン開催）</p> <p>重症度に係る検討・支援策を検討するためのアンケート調査では、眼球使用困難症者から 44 件と視覚障害者から 21 回答を得て、双方の回答の傾向を比較し、眼球使用困難者の特徴、その中でも重症となる目安を整理した。</p>
事業主体	<p>郵便番号：150-0013</p> <p>所在地：東京都渋谷区恵比寿 1 - 2 0 - 2 2</p> <p>法人名：社会システム株式会社</p> <p>電話番号/E-MAIL：03-5791-1133/ takamitsu@crp.co.jp</p>

(注)

- 1 本様式の作成にあたっては、厚生労働省ホームページに掲載するため、一般に公開することを想定し、分かりやすい表現に努めること。
- 2 本様式は、事業の概略をまとめるために作成するものであり、別途実施した事業についての成果物を必ず提出すること。
- 3 「事業目的」、「事業概要」、「事業実施結果及び効果」について、それぞれ 2 5 0 字程度で簡潔に記入すること。